

資料 3

平成 26 年度の実施プロジェクト（案）

1. H26 年度の実施プロジェクトの計画
2. H26 年度の実施プロジェクト（案）
3. 各プロジェクトの実施計画表の見直し

平成 25 年 11 月 11 日

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 事務局

1.H26 年度の実施プロジェクトの計画

(1) H26 年度の実施プロジェクトの計画

平成 25 年度は、実施プロジェクト数が 30 件、取組内容数が 79 件でした。平成 26 年度は実施プロジェクト数が 35 件、取組内容数が 89 件と平成 25 年度と比較して増加しています。

また、先行プロジェクトのうち未実施のプロジェクト数、取組内容数ともに減少しています。

	平成 25 年度実績			平成 26 年度計画		
	実施プロジェクト数（取組内容数）	先行プロジェクトのうち未実施プロジェクト数（取組内容数）	合計	実施プロジェクト数（取組内容数）	先行プロジェクトのうち未実施プロジェクト数（取組内容数）	合計
水源地域を結び、開く	4 (14)	2 (2)	6 (16)	6 (20)	1 (1)	7 (21)
流域圏の恵みの源を守り、育む	6 (18)	2 (3)	8 (21)	8 (21)	0 (0)	8 (21)
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	20 (47)	3 (3)	23 (50)	21 (48)	2 (3)	23 (51)
合計	30 (79)	7 (8)	37 (87)	35 (89)	3 (4)	38 (93)

(2) H26 年度に新規に実施する取組

平成 26 年度では、下記に示す 12 件の取組内容（先行プロジェクトの取組内容：11 件、早期に実施するプロジェクトの取組内容：1 件）を新規で実施します。

実施時期	プロジェクト	1 年目に取組むべき事項	実施内容	実施主体
先行プロジェクト	(1)-1 人材の発掘・活用	①技術や知識、知恵を持った人の発掘	・既存資料の整理	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町
	(2)-1 リーダーの育成	①リーダーを対象とした講習会の開催	・リーダーを対象とした講習会の事例調査	雲南省、奥出雲市
	(5)-1 情報発信の促進 (ホームページ、カレンダー、案内標識)	②水源地域に関する情報の積極的な発信 ③尾原ダム周辺の案内標識の整備	・Facebook を用いた情報発信 ・案内看板マップ（案）の作成	国土交通省
	(16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進	①下布施ホースセラピー施設の活用	・ホースセラピー施設へ利用促進 (H26.4 から施設の運用開始)	雲南省、NPO 法人インフォメンションセンター（雲南 TRC）
		②農地と連携した体験プログラムの企画	・農地と連携した体験プログラムの企画	雲南省、NPO 法人インフォメンションセンター（雲南 TRC）
	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用 (フォトコンテスト、のぼり)	①ビューポイント・写真撮影スポットの発掘	・ビューポイント・写真撮影スポットの発掘	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町、ワーキンググループ
	(10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除	②クズ等の駆除や有効活用策の検討	・クズ等の駆除や有効活用策の検討	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町、ワーキンググループ
	(10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ツツジ）	④さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化	・さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町、ワーキンググループ
	(13)-2 日本一プロジェクト	①「日本一」プロジェクトの企画	・「日本一」プロジェクトの企画	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町、ワーキンググループ
	(23)-3 イベントの企画・立案	②ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討	・ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町、ワーキンググループ
早期に実施するプロジェクト	(1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上		・取組内容の検討（事例収集）	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町
取組件数	10 件		12 件	

■：ワーキンググループで意見交換する取組内容

2.H26 年度の実施プロジェクト（案）

平成 26 年度に実施するプロジェクトの状況を踏まえ、「H26 年度の実施プロジェクト（案）」を作成しました（P.2～）。

3.各プロジェクトの実施計画表の見直し

平成 26 年度に実施するプロジェクトの状況を踏まえ、「実施計画表」を見直しました（P.9～）。

2.H26 年度の実施プロジェクト（案）

基本方針	大分類	プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			H25 年度実施状況		判定	H26 年度実施予定		
				取組事項	状況	実施主体	取組内容	実施主体		実施内容（案）	実施主体	
水源地域を結び、開く	I 人材の活用	(1) 人材の活用	早期（先行）	①技術や知識、知恵を持つ人の発掘	新規	（実施段階で検討）	×		新規	・既存資料の整理	国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町	
			早期		新規		×		新規	・取組内容の検討（事例収集）	国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町	
			早期（先行）	①大学や研究機関と連携したプログラムの開発	既存	雲南市、奥出雲町、島根大学、NPO 法人さくらおろち	○	・「探検マップ」や「尾原ダムの歩き方」などの作成	島根大学	（H27 年度以降に実施）		
	II 組織の整備	(2) 組織の整備	早期（先行）	①リーダーを対象とした講習会の開催	新規	（実施段階で検討）	×		新規	・リーダーを対象とした講習会の事例調査	雲南市、奥出雲市	
				③先進事例の視察	新規	（実施段階で検討）	●	・広島県土師ダムヘトレイルランニングの実施状況の視察	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち	継続	・トレイルランニング、トライアスロン、マラソンの実施状況などの視察（事務局へのヒアリング調査）	NPO 法人さくらおろち
	III 企業との連携	(3) 企業との連携（CSR 活動）	早期（先行）	①連携企業の募集	既存	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち	●	・企業 CSR 活動の募集	NPO 法人さくらおろち	継続	・企業 CSR 活動参加企業等の募集	NPO 法人さくらおろち
				②実施プログラムの作成	既存	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち	●	・企業 CSR 活動の実施	NPO 法人さくらおろち	継続	・企業 CSR 活動の実施	NPO 法人さくらおろち
				③CSR 活動の実施	既存	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち	●	・活動への職員参加 ・森と湖に親しむ旬間イベントに合わせた環境美化活動 ・NPO 法人さくらおろちの募集による企業 CSR 活動	雲南市、奥出雲町	継続	・企業 CSR 活動の実施	雲南市、奥出雲市
IV 斐伊川流域の連携	(4) 斐伊川流域からの支援	(4)-1 下流域からの支援	中期									
			早期（先行）	①流域内で実施されている活動や団体との連携	新規	（実施段階で検討）	●	・大橋川改修工事に係る団体との連携（ダム湖祭りへの招待など）	国土交通省	継続	・大橋川改修工事に係る団体との連携（ダム湖祭りへの招待など）	国土交通省
				②志津見ダム水源地域で活動されている団体との連携	新規	（実施段階で検討）	●	・志津見ダムボピー祭りでの特産品の販売	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち	継続	・志津見ダムボピー祭りでの特産品の販売	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち
V 情報発信	(5) 情報発信	(5)-1 情報発信の促進（ホームページ、カレンダー、案内標識）	早期（先行）	①水源地域の情報を発信するホームページの運用	既存	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省、NPO 法人さくらおろち、温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会	●	・斐伊川・神戸川流域の上下流交流サイト（水の縁による新たな出雲の国づくり）の運用開始	斐伊川・神戸川ダム対策協議会	継続	・斐伊川・神戸川流域の上下流交流サイト（水の縁による新たな出雲の国づくり）の運用	斐伊川・神戸川ダム対策協議会
				②水源地域に関する情報の積極的な発信	既存	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省、NPO 法人さくらおろち、温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会	●	・さくらおろち湖周辺を 100% 楽しむサイトの運用	NPO 法人さくらおろち	継続	・さくらおろち湖周辺を 100% 楽しむサイトの運用	NPO 法人さくらおろち
							●	・県 HP による広報・案内（さくらおろち湖周辺スポーツ施設）	島根県	継続	・県 HP による広報・案内（さくらおろち湖周辺スポーツ施設）	島根県
							●	・広報、ホームページ等での情報発信	雲南市	継続	・広報、ホームページ等での情報発信	雲南市
							●	・町ホームページ、町観光情報サイト「奥出雲ごこち」、町ケーブルテレビ・有線放送でのイベント周知	奥出雲町	継続	・町ホームページ、町観光情報サイト「奥出雲ごこち」、町ケーブルテレビ・有線放送でのイベント周知	奥出雲町
							●	・Facebook や twitter を用いた情報発信	NPO 法人さくらおろち	継続	・Facebook や twitter を用いた情報発信	NPO 法人さくらおろち
							●	・ホームページや尾原便り等での情報発信	国土交通省	継続	・ホームページや尾原便り等での情報発信	国土交通省
									新規	・Facebook を用いた情報発信	国土交通省	

《凡例》

プロジェクト		取組内容			判定	
(取組内容)	先行・早期プロジェクト	(取組内容)	○	H24 年度以前に実施	継続	H25 年度の実施内容を継続する取組
	中期・後期のプロジェクト		●	H25 年度に実施	新規	H26 年度に新規で実施する取組
	既存の取組		△	H25 年度に一部実施、または計画中	完了	H25 年度で完了した取組
	新規の取組		×	H25 年度に実施なし	-	H26 年度は実施を見送る取組
	①		◎	先行プロジェクト（取組内容）以外に追加実施した取組	未定	H26 年度の具体的な実施内容が未定である取組

基本方針	大分類	プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			H25年度実施状況		判定	H26年度実施予定		
				取組事項	状況	実施主体	取組内容	実施主体		実施内容(案)	実施主体	
水源地域を結び、開く	V情報発信	(5)情報発信	早期(先行)	③尾原ダム周辺の案内標識の整備	新規	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	●	・ダム直近の国道314沿線上での案内標識の整備	島根県	継続	・ダム直近の国道314沿線上での案内標識の整備	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省
							○	・ダム湖周辺施設の案内標識の設置	島根県	継続	・関係機関等との協議	島根県
			中期							新規	・案内看板マップ(案)の作成	国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町、WG
流域圏の恵みの源を守り、育む	VI環境の保全	(6)森林の保全・維持管理活動	早期(先行)	③竹林や林地残材のチップ化の推進	既存	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省、森林関係団体	●	・水の縁推進事業として、NPOを受託者として環境・景観保全の実施	NPO法人さくらおろち	継続	・竹林や林地残材のチップ化の推進	NPO法人さくらおろち(雲南市、奥出雲町)
							●	・森の観察会・農業体験(小学生向け)の実施	NPO法人さくらおろち	継続	・森の観察会・農業体験(小学生向け)の実施	NPO法人さくらおろち
			中期									
		(7)河川の水質の保全	早期	新規						-	(早期に実施するプロジェクトであり、H27年度以降に実施)	
			中期									
		(8)生物の生息環境の保全	早期(先行)	①三沢川の清掃活動	既存	とんぼの会、原田自治会	●	・「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による活動 ・草刈りなどの周辺整備	原田自治会、とんぼの会	継続	・「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による活動 ・草刈りなどの周辺整備	原田自治会、とんぼの会
							×	・カワニナ放流は構想で止まり、未実施	原田自治会、三沢小学校	-	(ホタル祭りなどに注力するため、カワニナの放流は見送る)	
							●	・「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル復活プロジェクト」の実施 ・ホタル祭りの実施 ・消灯の取組(街灯のタイマー設置や川沿い家屋の協力) ・看板の設置	原田自治会	継続	・ホタル祭りの実施	原田自治会、三沢小学校
			既存	③河岸のキツツキなどの保全活動の実施	既存	雲南市、奥出雲町	●	・希少なキツツキを挿木で植樹 ・自転車競技施設の法面に植樹(2千本) ・希望者への苗木の配付 ・植樹後の管理(施肥、草刈等)	個人、奥出雲町	継続	・苗木の作成	個人、奥出雲町
		(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	早期(先行)	①外来魚の放流が法律により禁止されていることの周知	新規	(実施段階で検討)	●	・「湖面利用の手引き」の中で外来種の放流禁止を周知	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	継続	・「湖面利用の手引き」の中で外来種の放流禁止を周知	国土交通省
			既存				●	・布勢小学校児童による環境学習会「森の健康診断」の実施	NPO法人さくらおろち	継続	・河川や森林への感心を促す「環境学習会」の開催	NPO法人さくらおろち
		(9)環境学習会等の開催	早期(先行)	①河川や森林への感心を促す「環境学習会」の開催	既存	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	●	・人工林の間伐体験、原木シイタケの植菌体験の実施	NPO法人さくらおろち	継続	・森の健康診断、人工林の間伐体験、原木シイタケ植菌体験の実施	NPO法人さくらおろち
							△	・地元小学校による尾原ダム周辺での写生大会の開催	NPO法人さくらおろち	継続	・地元小学校による尾原ダム周辺での写生大会の開催	NPO法人さくらおろち
			既存	②ダム湖周辺の河川などの夏休みの研究や自然観察会のフィールドとしての活用	既存	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	●	・田舎体験ツーリズムの検討(定住目的の体験ツアー実施)	NPO法人さくらおろち	継続	・田舎体験ツーリズムの検討(定住目的の体験ツアー実施:年2回程度)	NPO法人さくらおろち
			既存				●	・H25年度に実施なし		-	H26年度は実施を見送る取組	

《凡例》

プロジェクト		取組内容			判定	
取組内容	先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	継続	H25年度の実施内容を継続する取組	
(取組内容)	先行・早期プロジェクト	●	H25年度に実施	新規	H26年度に新規で実施する取組	
	中期・後期のプロジェクト	△	H25年度に一部実施、または計画中	完了	H25年度で完了した取組	
	既存の取組	×	H25年度に実施なし	-	H26年度は実施を見送る取組	
	新規の取組	◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	未定	H26年度の具体的な実施内容が未定である取組	

基本方針	大分類	プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			H25年度実施状況		判定	H26年度実施予定		
				取組事項	状況	実施主体	取組内容	実施主体		実施内容(案)	実施主体	
流域圈の恵みの源を守り、育む	VI 環境の保全	(9) 環境学習会等の開催	早期(先行)	④ホタルの観察会の開催	既存	原田自治会	●	・「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル観察会」の実施(対象は地域住民)	原田自治会	継続	・「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル観察会」の実施(対象は地域住民)	原田自治会
				⑤ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催	既存	地元小学校	●	・ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催	三沢小学校	継続	・ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催	三沢小学校
			早期(先行)	①ものづくりの体験プログラムの企画・開催(間伐・農業体験)	既存	NPO法人さくらおろち	●	・竹筒を使用したものづくり体験プログラムの実施	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	継続	・竹筒を使用したものづくり体験プログラムの実施	NPO法人さくらおろち
				②合宿形式の自然体験ツアーの企画・実施	既存	NPO法人さくらおろち	△	・造林地の葛を活用したリースづくり	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	継続	・造林地の葛を活用したリースづくり	NPO法人さくらおろち
				③休耕田等を活用した農業体験ツアーの実施	既存	NPO法人さくらおろち	×			-	(企画するスタッフが不足しているため、H26年度の実施は見送る)	
		(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	早期(先行)	④「柿採りと干し柿づくり」の推進	既存	とんぼの会	●	・体験イベントの実施 ・柿園の維持管理	NPO法人さくらおろち、とんぼの会	継続	・体験イベントの実施 ・柿園の維持管理	NPO法人さくらおろち、とんぼの会
				①ビューポイント・写真撮影スポットの発掘	新規	(実施段階で検討)	×			新規	・ビューポイント・写真撮影スポットの発掘	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町、WG
			早期(先行)	②ビューポイントの設置(看板の設置など)	新規	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町	×			-	(ビューポイントや写真撮影スポットの発掘後に検討)	
				②クズ等の駆除や有効活用策の検討	新規	(実施段階で検討)	×			新規	・クズ等の駆除や有効活用策の検討	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町、WG
				①サクラやモミジの計画に沿った植樹	既存	雲南省、奥出雲町、国土交通省、NPO法人さくらおろち	●	・艇庫横に植樹ゾーンを整備し、植樹を計画	雲南省	継続	・艇庫横に植樹ゾーンを整備し、植樹を計画	雲南省
(11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(11) 農地保全の仕組みづくり	(11)-1 農地保全の仕組みづくり	早期	②みーもの森づくりとしてサクラの植樹を実施	既存	NPO法人さくらおろち	●	・みーもの森づくりとしてサクラ・紅葉の植樹・保育管理を実施		継続	・みーもの森づくりとしてサクラ・紅葉の植樹・保育管理を実施	NPO法人さくらおろち
				③平田地区河岸への桜の植樹	既存	平田地区(平田を育てる会)	◎	・平田地区河岸への桜の植樹		継続	・平田地区河岸への桜の植樹	平田地区(平田を育てる会)
			中期	④さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化	新規	(実施段階で検討)				新規	・さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町、WG
		(11)-2 農村景観の向上(ミックスフラワー)	早期		新規					-	(早期に実施するプロジェクトであり、H27年度以降に実施)	

《凡例》

プロジェクト		取組内容			判定									
先行・早期プロジェクト	中期・後期のプロジェクト	既存の取組	新規の取組	(取組内容)	○	●	△	×	○	●	△	×	◎	
H24年度以前に実施	H25年度に実施	H25年度に一部実施、または計画中	H25年度に実施なし	H24年度以前に実施	継続	H25年度に新規で実施する取組	新規	完了	H25年度で完了した取組	未定	H26年度は実施を見送る取組	-	H26年度は実施を見送る取組	未定
H25年度に実施	H25年度に実施	H25年度に一部実施、または計画中	H25年度に実施なし	H25年度に実施	継続	H26年度に新規で実施する取組	新規	完了	H25年度で完了した取組	未定	H26年度は実施を見送る取組	-	H26年度は実施を見送る取組	未定
				先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組										

基本方針	大分類	プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			H25年度実施状況			判定	H26年度実施予定	
				取組事項	状況	実施主体	取組内容	実施主体	実施内容(案)		実施主体	
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	Ⅷ自然環境の活用	(12)森林の保全・活用	早期	新規					(早期に実施するプロジェクトであり、H27年度以降に実施)	-		
		(13)ダム周辺の既存施設の活用	早期(先行)	既存	国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	●	・各種イベントの情報を職員掲示板に掲載	島根県	・情報収集並びに情報発信	島根県		
		(13)ダム本体の活用		新規	国土交通省など	△	・クレスト放流の実施	国土交通省	・クレスト放流の実施	国土交通省		
	(14)サイクリング施設の活用	(13)-1尾原ダムの魅力の発掘と発信	既存	国土交通省	●	・各種イベントに併せた見学会の実施	国土交通省	・各種イベントに併せた見学会の実施	国土交通省			
		(13)-2日本一プロジェクト	早期(先行)	新規	(実施段階で検討)	×			・「日本一」プロジェクトの企画	国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町、WG		
		(14)-1サイクリングコースの活用・PR(サイクリングイベント、認定コース、ショートコース)	早期(先行)	既存	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省、奥出雲町商工会、競技団体(サイクリング)、NPO法人さくらおろち	●	・自転車競技施設の維持管理	島根県	・自転車競技施設の維持管理	島根県		
				既存	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省、奥出雲町商工会、競技団体(サイクリング)、NPO法人さくらおろち	●	・ロードレース中国大会でのPR ・奥出雲サイクリングでのPR	島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会	・ロードレース中国大会でのPR ・奥出雲サイクリングでのPR	島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会		
				既存	奥出雲サイクリング実行委員会(奥出雲町商工会)、島根県サイクリング協会(センチュリーライド)	●	・自転車競技コースの整備 ・ロードレース中国大会でのPR ・奥出雲サイクリングでのPR	島根県	・自転車競技コースの整備等 ・ロードレース中国大会でのPR ・奥出雲サイクリングでのPR	島根県		
				既存	島根県自転車競技連盟(NPO法人サイクリストビュー)	●	・シクロクロス大会の実施 ・各種ロードレース大会開催(中国地域自転車道路競走大会、国体予選、定期大会等) ・MTBは来年3月開催に向けて計画中(出雲路センチュリーライド)	島根県自転車競技連盟	・シクロクロス大会の実施 ・各種ロードレース大会開催(中国地域自転車道路競走大会、国体予選、定期大会等)	島根県		
				既存	自転車競技団体	●	・シクロクロス大会の一環で子ども向け大会の開催 ・おはようサイクリング(子ども向けイベント)の開催	島根県自転車競技連盟、島根県サイクリング協会	・シクロクロス大会の一環で子ども向け大会の開催 ・おはようサイクリング(子ども向けイベント)の開催	島根県自転車競技連盟、島根県サイクリング協会		

《凡例》

プロジェクト		取組内容			判定	
先行・早期プロジェクト	○	H24年度以前に実施	(取組内容)	○ H25年度に実施	継続	H25年度の実施内容を継続する取組
中期・後期のプロジェクト	●	H25年度に実施			新規	H26年度に新規で実施する取組
既存の取組	△	H25年度に一部実施、または計画中			完了	H25年度で完了した取組
新規の取組	×	H25年度に実施なし			-	H26年度は実施を見送る取組
①先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		②			未定	H26年度の具体的な実施内容が未定である取組

基本方針	大分類	プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			H25年度実施状況			判定	H26年度実施予定		
				取組事項	状況	実施主体	取組内容	実施主体	実施内容(案)		実施主体	実施主体	
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	さくらおろち湖の魅力発信	IX. ダム周辺の既存施設の活用	(14) サイクリング施設の活用	早期(先行)	①レンタサイクルの実施	新規	奥出雲町	●	・佐白温泉長者の湯でのレンタサイクル運用開始	奥出雲町	継続	・佐白温泉長者の湯でのレンタサイクルの実施 ・「道の駅おろちの里」の追加(調整中)	奥出雲町
			(14)-3 サイクリングコースの改善	後期									
		(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面の利用促進(ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡回体験)	早期(先行)	①湖面利用の活発化、検討	既存	雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省、NPO法人さくらおろち	●	・ボート競技施設の運営・維持管理	島根県	継続	・ボート競技施設の運営・維持管理	島根県
					③レガッタ大会やボート競技大会の誘致	既存	雲南市、奥出雲町、島根県、斐伊川さくらボート協会、島根県ボート協会	●	・ボート競技コースの整備	島根県	継続	・ボート競技コースの整備等(一部、コース等の不具合への対応検討を予定)	島根県
								●	・レガッタ大会の開催(1.定例県大会、2.中国大会(中国高校選手権、国体中国予選、高校選抜予選)、3.強化練習会) ・県外チームの招聘	斐伊川さくらボート協会、島根県ボート協会	継続	・レガッタ大会の開催(1.定例県大会、2.中国大会(中国高校選手権、国体中国予選、高校選抜予選)、3.強化練習会) ・県外チームの招聘	斐伊川さくらボート協会、島根県ボート協会
					④子供向けのボート教室の実施	既存	NPO法人さくらおろち、斐伊川さくらボート協会、県ボート協会の運営協力(大学生への声がけ)	●	・子ども向け教室の開催	斐伊川さくらボート協会	継続	・子ども向け教室の開催	
					⑤流域住民を対象とした体験教室の開催	既存	NPO法人さくらおろち、斐伊川さくらボート協会、県ボート協会の運営協力(大学生への声がけ)	●	・市民レガッタの実施 ・住民向け体験イベントの開催(ガッシュショ祭りでのローリングマシンによる競争イベント等)	NPO法人さくらおろち、斐伊川さくらボート協会	継続	・流域住民を対象としたレガッタ・カヤックの体験教室の開催	NPO法人さくらおろち(斐伊川さくらボート協会)
		(15)-2 さくらおろち湖の魅力発信	早期		新規						-	(早期に実施するプロジェクトであり、H27年度以降に実施)	
		(15)-3 釣り利用(PR・大会・施設設備)	早期(先行)	①釣り大会の実施の可能性の検討	新規	(実施段階で検討)		×			-	(引き続き対象魚種の生息状況を見守る)	
		(15)-4 利用ルールの策定・周知(湖面利用の手引き等)	早期(先行)	①「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の策定	既存	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	●	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	継続	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	
				②手続きの簡素化や窓口の一元化の可能性の実施	既存	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	●	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	継続	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	
		(16) 既存施設等の活用	(16)-1 自転車競技施設(多目的広場)の利用促進(音楽イベント等)	早期(先行)	①土曜・日曜・祝日ににおける施設の開放	新規	(実施段階で検討)	●	・土曜、祝日にトイレ施設の開放	島根県	継続	・土曜、祝日にトイレ施設の開放	島根県
				②音楽イベントの開催	既存	雲南市商工会、奥出雲町商工会、NPO法人さくらおろち	△	・第2回雲南ロックフェスティバルの開催(台風接近により中止)	NPO法人さくらおろち	継続	・ロックフェスティバル等音楽イベントの開催(雨天の場合は屋内を会場とする)	NPO法人さくらおろち	

《凡例》

プロジェクト		取組内容			判定		
先行・早期プロジェクト	中期・後期のプロジェクト	既存の取組	新規の取組	取組内容	実施状況	実施内容	判定
(取組内容)	○	H24年度以前に実施		継続	H25年度の実施内容を継続する取組		
	●	H25年度に実施			新規	H26年度に新規で実施する取組	
	△	H25年度に一部実施、または計画中			完了	H25年度で完了した取組	
	×	H25年度に実施なし			-	H26年度は実施を見送る取組	
◎		先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組			未定	H26年度の具体的な実施内容が未定である取組	

基本方針	大分類	プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			H25年度実施状況			判定	H26年度実施予定	
				取組事項	状況	実施主体	取組内容	実施主体	実施内容(案)		実施主体	
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	Ⅸ ダム周辺の既存施設の活用	(16) 既存施設の利用促進	早期(先行)	①体験学習会や小中学生を対象とした合宿研修の開催	既存	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	●	・水源地域環境活動推進業務委託	NPO法人さくらおろち	継続	・体験学習会や小中学生を対象とした合宿研修の開催	NPO法人さくらおろち(田舎ツーリズム協議会)
				①下布施ホースセラビー施設の活用	新規					新規	・ホースセラピー施設の利用促進(H26.4から施設の運用が開始)	雲南市、NPO法人インフォメンションセンター(雲南TRC)
				②農地と連携した体験プログラムの企画	既存	雲南市、NPO法人インフォメンションセンター(雲南TRC)	×			新規	・農地と連携した体験プログラムの企画	雲南市、NPO法人インフォメンションセンター(雲南TRC)
				①小中学生(スポーツ少年団)による登山企画の実施	既存	NPO法人さくらおろちスポーツ少年団競技関係団体	×	・小中学生による登山の実施	小学校	継続	・小中学生による登山の実施	調整中
				②殿様街道の保全活動やイベントなどの実施	既存	NPO法人さくらおろちとんぼの会	●	・殿様街道を歩く勉強会の開催	とんぼの会	継続	・殿様街道を歩く勉強会の開催。	とんぼの会
		(16)-4 街道・登山道活用(トレインランニング、殿様街道、岩伏山)	早期(先行)	③トレインランニング大会の継続	既存	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち、とんぼの会	●	・第1回トレインランニング大会の開催	さくらおろち湖トレインランニング実行委員会	継続	・第2回トレインランニング大会の開催	さくらおろち湖トレインランニング実行委員会
				(16)-5 新たな活用策の検討(星空観察会、ドックラン等)	中期							
	X歴史・文化の継承	(17) 神話の継承・活用	早期(先行)	①出雲神話を巡る着地型観光ツアーの企画	既存	株式会社吉田ふるさと村、雲南市観光協会	●	・「島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅(スナオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス)」の開催	株式会社吉田ふるさと村、雲南市観光協会	継続	・「島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅(スナオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス)」の開催	株式会社吉田ふるさと村、雲南市観光協会
		(18) 郷土料理の継承・活用	早期(先行)	①地域に伝承されている「食」の掘り起こし	既存	NPO法人さくらおろち	●	・さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	継続	・さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち
				②郷土料理の講座の開催	既存	NPO法人さくらおろち	●	・さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	継続	・さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち
		(18)-2 モニターツアーの開催	早期(先行)	①郷土料理を楽しむモニターツアーの開催	既存	NPO法人さくらおろち	●	・奥出雲町産の食材を使用している松江市内の古民家レストラン「かんてら山」のお客さんを水源地域に招くツアーオの開催	NPO法人さくらおろち	継続	・郷土料理を楽しむモニターツアーの開催(上下流域圏交流:松江市内からモニター募集)	NPO法人さくらおろち
				②奥出雲のオーガニック料理教室	既存	NPO法人奥出雲布勢の郷、奥出雲多根自然博物館	●	・料理教室(地元の安全・安心な食の提供とPR) ・産直販売	料理教室: 奥出雲多根自然博物館 産直: NPO法人奥出雲布勢の郷	継続	・オーガニック料理教室の開催(4回程度) ・生産農家の拡大	料理教室: 奥出雲多根自然博物館 産直: NPO法人奥出雲布勢の郷
	(19) 地域文化の継承・活用	(19)-1 古民家の活用	早期(先行)	①観光拠点の一つとして「要害山交流拠点施設みざわの館」の活用	既存	奥出雲町、雲南市、とんぼの会、NPO法人さくらおろち	● ● ◎	・田舎体験ツアーハ宿泊地として活用 ・レストランの運営 ・体験イベントの実施 ・独居老人の昼食会の開催 ・名月鑑賞会の開催	奥出雲町 とんぼの会 とんぼの会	継続 継続 継続	・田舎体験ツアーハ宿泊地として活用 ・レストランの運営 ・体験イベントの実施 ・独居老人の昼食会の開催 ・名月鑑賞会の開催	奥出雲町 とんぼの会 とんぼの会

《凡例》

プロジェクト		取組内容			判定			
先行・早期プロジェクト	中期・後期のプロジェクト	既存の取組	新規の取組	○	H24年度以前に実施	継続	H25年度の実施内容を継続する取組	
○ ● △ ×	○ ● △ ×	○ ● △ ×	○ ● △ ×	○	H25年度に実施	新規	H26年度に新規で実施する取組	
				●	H25年度に実施			
				△	H25年度に一部実施、または計画中	完了	H25年度で完了した取組	
				×	H25年度に実施なし	-	H26年度は実施を見送る取組	
◎				◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	未定	H26年度の具体的な実施内容が未定である取組	

基本方針	大分類	プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			H25年度実施状況			判定	H26年度実施予定		
				取組事項	状況	実施主体	取組内容	実施主体	実施内容(案)		実施内容(案)	実施主体	
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	X I 新たな魅力・資源の発掘・活用	(20) 地域の魅力・資源の発掘・活用(スタンプラリー)	早期(先行)	①温泉スタンプラリーの企画・実施	既存	雲南広域連合	●	・「うんなん湯たんぶラリー」の実施	雲南広域連合	継続	・「うんなん湯たんぶラリー」の実施	雲南広域連合	
				②世代間交流イベントの実施	新規	NPO法人奥出雲布勢の郷	●	・論語塾の開催 ・地域づくりや環境活動の講演会の開催 ・健康ウォーキングの開催	NPO法人奥出雲布勢の郷	継続	・開催広報と運営内容を工夫し参加者の拡大	NPO法人奥出雲布勢の郷	
			早期(先行)	②地域全体として魅力の発信	新規	(実施段階で検討)	●	・(17)-1で実施「島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅(スナオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス)」の開催】	株式会社ふるさと村、雲南市観光協会	継続	・島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅(スナオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス)」の開催	株式会社ふるさと村、雲南市観光協会	
			早期(先行)	①地域体感ツアーの企画・開催	既存	NPO法人さくらおろち	●	・地域の魅力を体験できるツアーの開催(夏と冬)	NPO法人さくらおろち	継続	・地域体感ツアーの企画・開催	NPO法人さくらおろち(田舎ツーリズム協議会)	
				②雪かきなどの雪体験ツアーの開催	既存	NPO法人さくらおろち	●	・地域体感ツアーの一環として雪かきや生活体験の実施	NPO法人さくらおろち	未定	(実施内容を検討中)	NPO法人さくらおろち	
				③温泉や宿泊施設などとの連携	既存	NPO法人さくらおろち	●	・地域体感ツアーにおいて温泉や宿泊施設の活用	NPO法人さくらおろち	未定	(実施内容を検討中)	NPO法人さくらおろち	
		(21) 漁業資源の育成と活用	早期(先行)	①ワカサギの放流	既存	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち、斐伊川漁業協同組合、温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会	●	・ワカサギの卵の取付や生息調査	NPO法人さくらおろち	未定	(実施内容を検討中)	NPO法人さくらおろち	
				②冬季の観光資源としての活用	既存	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち、斐伊川漁業協同組合、温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会	×			未定	(実施内容を検討中)	NPO法人さくらおろち	
		(22) 特産品の開発・販売	(22)-1 特産品の開発・販売促進	早期(先行)	①水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発	既存	雲南市商工会、奥出雲町商工会	●	・かぼちゃの特産品化(コリンキー、栗まさる、ロロン、かち割りかぼちゃの4品種) ・食用ホオズキ	NPO法人ふる里雲南	継続	・かぼちゃの特産品化(コリンキー、栗まさる、ロロン、かち割りかぼちゃの4品種) ・食用ホオズキ	NPO法人ふる里雲南
X II 交流イベントの活発化	(23) 交流イベントの活発化	(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催	早期(先行)	①「さくらおろち湖祭り」の開催	既存	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	●	・第9回さくらおろち湖祭りの開催	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	継続	・第10回さくらおろち湖祭りの開催	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	
				②実施プログラムの発展	既存	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	●	・実施プログラムの見直し	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	継続	・実施プログラムの見直し	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	
		(23)-2 そば打ち交流会の開催	早期(先行)	①「そば打ち交流会」の継続	既存	雲南市、奥出雲町	△	・そば打ち交流会の開催	雲南市、奥出雲町	継続	・そば打ち交流会の開催	雲南市、奥出雲町	
				②ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討	新規	(実施段階で検討)	×			新規	・ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討	国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町、WG	
		(23)-3 イベントの企画・立案	早期(先行)	④トライアスロン大会の企画	新規	(実施段階で検討)	◎	・トライアスロン練習会の開催	島根県トライアスロン協会、雲南市、奥出雲町	継続	・トライアスロン練習会の開催	島根県トライアスロン協会、雲南市	

《凡例》

プロジェクト		取組内容			判定		
	先行・早期プロジェクト	(取組内容)	○	H24年度以前に実施	継続	H25年度の実施内容を継続する取組	
	中期・後期のプロジェクト		●	H25年度に実施	新規	H26年度に新規で実施する取組	
	既存の取組		△	H25年度に一部実施、または計画中	完了	H25年度で完了した取組	
	新規の取組		×	H25年度に実施なし	-	H26年度は実施を見送る取組	
	◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	未定	H26年度の具体的な実施内容が未定である取組

3.各プロジェクトの実施計画表の見直し

平成 26 年度の実施内容を踏まえ、実施計画表を見直しました。

先行プロジェクト1

(1)-1 人材の発掘・活用

A 取組内容 (全体)	目的	・人材の活用 ・人材の発掘					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域の活性化に向けた技術や、知識、知恵を持った人材を発掘します。 ②発掘した人材を有効活用するための人材バンク（データベース）の構築を検討します。					
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①既存資料の整理			新規	・国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町		
D. 実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2			備考 (必要な支援内容、留意事項等)		
	住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	
企画立案	●	●	●	●	●	●	
人材発掘	●	●	●	●			
人材バンクの構築	●	●	●	●			
人材バンクの活用	●	●	●	●	●		
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E. 関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

■：平成 26 年度に新規に実施する取組

《追加》先行プロジェクト3 8

(1)-2 接客技術（おもてなしの心）の向上

A 取組内容 (全体)	目的	・接客技術の向上					
	場所	・水源地域					
	内容	①接客セミナーや研修等を実施することにより観光客への接客マナーの向上に務め、観光の担い手を育成します。					
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①取組内容の検討（事例収集）			新規	・国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町		
D. 実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2			備考 (必要な支援内容、留意事項等)		
	住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	
企画立案	●	●	●	●	●	●	
事例収集	●	●	●	●	●	●	
接客セミナー等の実施	●	●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E. 関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

■：平成 26 年度に新規に実施する取組

先行プロジェクト2

(1)-3 教育機関（大学等）との連携

A 取組内容 (全体)	目的	・教育機関との連携 ・人材の確保					
	場所	・島根大学			・水源地域		
	内容	・島根県立大学					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①大学や研究機関と連携したプログラムの開発			既存	・雲南市、奥出雲町、島根大学、NPO法人さくらおろち		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	教育機関との連携
	プログラムの開発	●	●	●	●		
	ニーズ調査	●	●	●	●		
	システムづくり	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	教育機関との連携
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

先行プロジェクト3

(2)-1 リーダーの育成

A 取組内容 (全体)	目的	・リーダーの育成 ・活動の継続					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域ビジョンで検討された活動を継続して推進していくために、リーダーを対象とした講習会を開催します。 ②リーダー研修会を開催します。 ③先進事例を推進している地域への視察などを行います。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①リーダーを対象とした講習会の事例調査			新規	・雲南市、奥出雲市		
	③先進事例の視察			新規	・NPO法人さくらおろち		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	講習会の開催	●	●	●	●		
	リーダー研修の開催	●	●	●	●		
	先進事例の視察	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

■：平成 26 年度に新規に実施する取組

先行プロジェクト4

(3)-1 企業との連携 (CSR活動)

A.取組内容(全体)	目的	・活動の継続							
	場所	・水源地域 ・斐伊川流域							
	内容	①水源地域ビジョンで検討された活動を推進していくために、連携して活動を推進していく企業を募集します。 ②企業と連携可能なプログラムを作成します。 ③水源地域の活性化を流域として継続していくために、流域内の企業が実施するCSR(企業の社会的責任)活動と連携して、周辺地域の清掃等を実施します 【既存の取組内容】 ・「斐伊川・神戸川流域における命の絆づくり」において企業との連携によるクリーンアップ活動を実施しています(平成24年9月に、松江市と出雲市の企業6社が尾原ダム周辺にて除草作業等を実施)。 ・「森と湖に親しむ旬間」に併せ、「温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会」、「温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」」の関係者や、ダム上流・中流・下流の協力企業15社、「NPO法人さくらおろち」、「NPO法人奥出雲布勢の郷」などから約80名の参加により、「さくらおろち湖周辺の環境美化活動(草刈り、空き缶拾い等)」を実施(平成25年7月)。							
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体				
	①連携企業の募集			既存	・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち				
	②実施プログラムの作成			既存	・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち				
D.実施項目と役割分担	③CSR活動との連携			既存	・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち				
	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)		
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省		
E.関連プロジェクト	企画立案		●	●	●	●	●	●	商工会などと連携
	連携企業の募集		●	●	●	●	●	●	志津見ダム団体との調整等
	実施プログラムの開発		●	●	●	●			
	CSR活動との連携実施	●	●	●	●				
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	●	

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト5

(4)-2 流域圏の連携

A.取組内容(全体)	目的	・下流域との連携 ・流域圏の連携						
	場所	・水源地域 ・斐伊川下流域						
	内容	①尾原ダムの魅力を活かし、流域圏の連携・発展を図るために、流域内で実施されている活動や団体との連携を深化させています。 ②志津見ダム水源地域で活動されている団体と連携した情報発信や連携イベントの開催などを検討します。 ③広域的に連携した観光ルートを創造し、広くPRします。						
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体			
	①流域内で実施されている活動や団体との連携				新規		国土交通省	
	②志津見ダム水源地域で活動されている団体との連携				新規		雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}						備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	
		企画立案	●	●	●	●	●	
		連携イベントの開催	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	観光ルートの創造							
	広報・PR							
	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR(サイクリングイベント、認定コース、ショートコース) (15)-1 湖面の利用促進(ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験) (16)-1 自転車競技施設(多目的広場)の利用促進(音楽イベント等) (16)-4 街道・登山道の活用(トレイルランニング、殿様街道、岩伏山) (23)-1 さくらおろち湖祭りの開催 (23)-2 そば打ち交流会の開催 (23)-3 イベントの企画・立案							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト6

(5)-1 情報発信の促進（ホームページ、カレンダー、案内標識）

A.取組内容（全体）	目的	・水源地域の魅力の発信						
	場所	・水源地域						
	内容	①水源地域の情報を発信するホームページに水源地域の自然環境や魅力、イベント情報、学習情報、特産品情報、活動情報などを発信します。 ②各種イベントや地域マスメディア（ケーブルテレビ・新聞社等）、各種情報誌に水源地域に関する情報を積極的に発信します。 ③尾原ダム周辺の案内標識を整備します。						
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体					
	①水源地域の情報を発信するホームページの運用	既存	• 雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省 • NPO法人さくらおろち • 温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会					
	②水源地域に関する情報の積極的な発信	既存	• 雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省 • NPO法人さくらおろち • 温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会					
	《追加》Facebookを用いた情報発信	新規	• 国土交通省					
	③尾原ダム周辺の案内標識の整備	新規	• 雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省					
	《追加》尾原ダム周辺以外の案内看板マップ（案）の作成	新規	• 国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町、WG					
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2						
住民		団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
企画立案		●	●	●	●	●		●
ホームページの充実		●	●	●	●	●		●
地域マスメディアとの連携		●	●	●	●	●		●
案内標識の設置検討			●	●	●	●		●
案内標識の設置			●	●	●	●		道路管理者との調整
E.関連プロジェクト								

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

■：平成 26 年度に新規に実施する取組

先行プロジェクト7

(6)-1 森林の整備・管理

A.取組内容（全体）	目的	・森林の保全 ・上流部の森林の整備						
	場所	・水源地域の森林						
	内容	①斐伊川流域の河川の水質を保全するため、上流部の森林で広葉樹の植林や森林の計画的な間伐などの維持管理を積極的に行います。 ②森林の計画的な間伐などの維持管理を実施します。 ③雲南市の「うんなん森林バイオマス活用システム」や奥出雲町の「バイオマスタウン構想」と連携し、竹林や林地残材のチップ化を推進します。 ④さくらおろち湖内の竹林等の適正な管理を行います。						
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体					
	③竹林や林地残材のチップ化の推進	既存	• NPO法人さくらおろち					
	④さくらおろち湖内の竹林等の管理	既存	• NPO 法人さくらおろち					
	実施項目	推進に関わる機関※1、※2						
住民		団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
企画立案			●	●	●	●		●
植林の実施		●	●	●	●	●		●
間伐の実施		●	●	●	●	●		●
E.関連プロジェクト								

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト8

(8)-1 生息環境の保全（動物、植物）

A 取組内容 （全体）	目的	・生息環境の保全					
	場所	・ダム周辺の河川（ホタル：三沢川、キシツツジ：河岸） ・ダム周辺地域					
	内容	①ホタルの生息環境を保全するため、三沢川の清掃活動を継続します。 ②ホタルの餌の減少を防ぐため、カワニナの放流活動を実施します。 ③河川環境の保全のシンボルである、河岸のキシツツジなどの保全活動を実施します。 ④人と動物が共生するための安全対策の検討を推進します。 ⑤オオサンショウウオを保全するために、生息環境の保全活動を推進します。 【既存の取組内容】 ・とんぼの会が、三沢川周辺の地域住民と、三沢川の清掃などホタルの保全を目的とした環境保全活動を実施しています。 ・八代川周辺の地域住民や、布勢公民館、奥出雲多根自然博物館が、オオサンショウウオの保全を目的とした環境保全活動を実施しています。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項		状況		C.実施主体		
	①三沢川の清掃活動		既存		・とんぼの会 ・原田自治会		
	②カワニナの放流活動の実施		既存		・原田自治会		
	③河岸のキシツツジなどの保全活動の実施		既存		・雲南市、奥出雲町 ・躉地自治会		
	⑤オオサンショウウオの保全・観察		既存		・布勢公民館 ・奥出雲多根自然博物館		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案		●	●	●	●	●	●
清掃活動の実施	●	●	●	●	●	●	島根県、国土交通省：河川管理者として
カワニナの放流	●	●					
キシツツジ保全活動の実施	●	●					
安全対策の検討		●	●	●			
安全対策の実施		●	●	●			
オオサンショウウオの保全			●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル） (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト9

(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策

A 取組内容 （全体）	目的	・外来種対策 ・害獣、害鳥対策					
	場所	・さくらおろち湖					
内容	①ブラックバスを始めとした外来魚の放流が法律により禁止されていることを周知します。 ②外来種を捕獲するための仕組みづくりを検討します。 ③森林や漁業資源に被害をもたらす害獣（イノシシなど）や害鳥（カワウなど）の対策を試行します。						
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況		C.実施主体	
	①外来魚の放流が法律により禁止されていることの周知			新規		(実施段階で検討)	
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案		●	●	●	●	●	●
関係機関との調整			●	●	●	●	斐伊川漁業協同組合との調整
周知内容の整理			●	●	●	●	●
案内看板の設置	●	●	●	●	●	●	●
対策の検討		●	●	●	●	●	●
外来種を捕獲する仕組みの構築		●	●	●			
害獣、害鳥対策を試行	●	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト10

(9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル）

A.取組内容（全体）	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境への意識啓発 ・環境学習の場の提供 					
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム周辺の河川 ・さくらおろち湖 ・ダム下流部 ・水源地域の森林 					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ①さくらおろち湖や周辺の河川、森林への関心を促すために、「環境学習会」を開催します。 ②ダム湖周辺の河川など、子供たちの夏休みの研究や自然観察会のフィールドとして活用します。 ③さくらおろち湖周辺に生息するホタルの観察ポイントを整備します。 ④ホタルの観察会を開催し、自然環境への意識啓発を図ります。 ⑤ホタル（カワニナ）の生息環境と水質の関係の学習会の開催などを実施します。 					
		<p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三沢川周辺でホタル保護のための環境保護活動が実施されています。 ・出前講座や植樹活動等を通じ、森林への関心等を醸成しています。 ・平成12年から平成22年までどんぐりの森づくり（尾原ダム「どんぐりの森づくり」実行委員会）を実施し、斐伊川を中心とした上下流域から小学生が参加していました。 					
	B.1年目に取組むべき事項	<p>取組事項</p>		状況	<p>C.実施主体</p>		
D.実施項目と役割分担	①河川や森林への関心を促す「環境学習会」の開催			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・雲南省、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち 		
	②ダム湖周辺の河川などの夏休みの研究や自然観察会のフィールドとしての活用			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・雲南省、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち 		
	④ホタルの観察会の開催			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・原田自治会 		
	⑤ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・地元小学校 		
	実施項目	<p>推進に関わる機関※1、※2</p>				<p>備考</p> <p>(必要な支援内容、留意事項等)</p>	
E.関連プロジェクト	企画立案	●	●	●	●	●	●
	「環境学習会」の開催		●	●	●	●	●
	フィールドとしての活用	●	●	●	●	●	●
	ホタルの観察ポイントの整備	●	●	●	●		
	ホタルの観察会の開催	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
<p>(8)-1 生息環境の保全（動物、植物）</p>							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト11

(9)-2 体験プログラムの企画・開催（間伐・農業体験）

A.取組内容（全体）	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・森林や農地の保全への意識啓発 ・体験学習の場の提供 					
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の森林 ・水源地域の農地 					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ①水源地域の森林保全への意識を啓発するために、間伐や材木を活用したものづくりの体験プログラムを企画・実施します。 ②合宿形式の自然体験ツアーを企画・実施します。 ③水源地域の休耕田等を活用した農業体験ツアーを実施します。 ④既に実施している「柿採りと干し柿づくり」ツアーを推進します。 					
		<p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楓之屋ヒーリングが、農業生産体験を1ターン希望の研修生等を対象に実施しています。 ・NPO法人さくらおろちが、様々な体験プログラムを企画・開催しています。 <ul style="list-style-type: none"> ◆「柿をめぐる男たちの農村ロマン」として「柿採りと干し柿づくり体験」を実施。 ◆神話の里さくらおろち・食の学び舎「農林業の助っ人スサノオ養成講座」として地域住民が講師となった「農林業の体験事業」を実施。 ◆「しまね暮らし体験事業」として「県外在住者向けの田舎暮らし体験」を実施。 ・NPO法人さくらおろちとNPO法人もりふれ俱楽部が、オロチの深山きこりプロジェクトとして間伐材を使った染物体験などを実施しています。 					
	B.1年目に取組むべき事項	<p>取組事項</p>		状況	<p>C.実施主体</p>		
D.実施項目と役割分担	①ものづくりの体験プログラムの企画・実施			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人さくらおろち 		
	②合宿形式の自然体験ツアーの企画・実施			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人さくらおろち 		
	③休耕田等を活用した農業体験ツアーの実施			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人さくらおろち 		
	④「柿採りと干し柿づくり」の推進			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・とんぼの会 		
	実施項目	<p>推進に関わる機関※1、※2</p>				<p>備考</p> <p>(必要な支援内容、留意事項等)</p>	
E.関連プロジェクト	企画立案	●	●	●	●	●	●
	ものづくり体験プログラムの実施		●	●	●		
	自然体験ツアーの実施	●	●	●	●		
	農業体験ツアーの実施	●	●	●	●		
	「柿採りと干し柿づくり」の実施	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

赤字：平成25年度との変更点（追加実施、見送りなど）

先行プロジェクト12

(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり）

A 取組内容 (全体)	目的	・ダム周辺の景観向上 ・ダム湖の魅力発掘					
	場所	・さくらおろち湖 ・さくらおろち湖周辺					
	内容	①さくらおろち湖周辺の良好な景観を発信し、魅力を向上させるために、さくらおろち湖周辺のビューポイント・写真撮影スポットを発掘します。 ②ビューポイントを設置します。 ③季節に応じて見ごろを迎える紅葉や桜、新緑などを活かした写真撮影会の開催や、湖畔や橋に鯉のぼり（おろちのぼり）を掲げるなど、さくらおろち湖の魅力を発信します。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項		状況	C.実施主体			
	①ビューポイント・写真撮影スポットの発掘		新規	・国土交通省、島根県、雲南市、 奥出雲町、WG			
	②ビューポイントの設置（看板の設置など）		新規	・国土交通省、島根県、雲南市、 奥出雲町			
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案		●	●	●	●	●	●
ビューポイント等の発掘	●	●	●	●	●	●	
写真撮影会スポットの発掘		●	●	●	●	●	地元カメラ団体への協力伝達
ビューポイントの設置			●	●	●	●	
写真撮影会や鯉のぼり等の実施	●	●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除 (10)-3 ダム湖周辺の植栽（桜、ツツジ） (13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クロス放流等）						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

 ：平成 26 年度に新規に実施する取組

先行プロジェクト13

(10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除

A 取組内容 (全体)	目的	・ダム周辺の景観向上					
	場所	・さくらおろち湖周辺					
	内容	①さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクズやカズラ等の駆除を推進します。 ②クズやカズラ等の対策にあたっては、単純にクズやカズラ等を伐採するだけでなく、クズ等の有効活用策（根のレシピづくり、編みかごづくりなど）を検討し、地域住民と楽しみながら対策できるような仕組みを構築します。 ③根本的な対策を検討していくために、クズ除去等の対策部会の設置や専門家への聞き取り調査などをあわせて実施します。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	②クズ等の駆除や有効活用策の検討			新規	・国土交通省、島根県、雲南市、 奥出雲町、WG		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案		●	●	●	●	●	●
生育場所の調査・整理	●	●	●	●	●	●	
クズやカズラ等の駆除	●	●	●	●	●	●	
クズ等の有効活用策の検討	●	●	●	●	●	●	
クズ対策の仕組みの構築	●	●	●	●	●	●	
専門家への聞き取り調査		●	●	●	●	●	専門家との調整
クズ除去等の対策部会の設置		●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり）						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

 ：平成 26 年度に新規に実施する取組

先行プロジェクト14

(10)-3ダム湖周辺の植栽（サクラ、ツツジ）

A 取組内容 (全体)	目的	・ダム周辺の景観向上						
	場所	・さくらおろち湖周辺						
	内容	①平成22年度に策定された「さくらおろち湖周辺植栽計画」に基づき、サクラやモミジ等の計画的な植樹活動を行います。 ②ダム本体周辺にツツジなどの植栽を実施し、ダム本体の魅力を向上させます。 ③植樹の推進にあたっては、様々な助成事業を活用します。 ④さくらおろち湖周辺植栽計画を踏まえ、例えば「尾原ダム千本桜」などの目標を掲げ整備します。						
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体				
	①サクラやモミジの計画に沿った植樹	既存		• 雲南省、奥出雲町、国土交通省 • NPO法人さくらおろち				
	④さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化	新規		• 国土交通省、島根県、雲南省、 奥出雲町、WG				
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県		国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●	
	サクラやモミジの適正な植樹	●	●	●	●	●	●	
	ツツジなどの植栽場所の選定	●	●	●	●	●	●	
	ツツジなどの植栽	●	●	●	●	●	●	
	助成金を活用した植樹の推進	●	●					
	さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり）							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

赤字：平成25年度との変更点（追加実施、見送りなど）

■：平成26年度に新規に実施する取組

先行プロジェクト15

(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等）

A 取組内容 (全体)	目的	・尾原ダムの魅力発掘 ・尾原ダムの魅力発信						
	場所	・尾原ダム（本体・堤頂道路など）						
	内容	①尾原ダムの魅力を発掘し、積極的に発信します。 ②尾原ダムの魅力を向上させるために、ライトアップやイルミネーション、クレスト放流の実施などを検討します。 ③各種イベントに合わせて実施しているダム施設の見学ツアーを積極的に開催します。 ④写生大会など、ダム本体の学習教材としての活用やビューポイントとの連携、ダムカードの活用、情報端末の活用など、尾原ダムが有する資源・特徴を発掘・発信します。 ⑤ダムの活用について様々な可能性を追求します（ダムのビューポイント探し、フォトコンテスト、ダム本体に絵を描く企画、無料オートシアター、ロッククライミングなど）。						
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体				
	①尾原ダムの魅力の発掘と発信	既存		• 国土交通省、島根県、雲南省、 奥出雲町 • NPO法人さくらおろち				
	②ライトアップやイルミネーション、クレスト放流の実施	新規		• 国土交通省など				
	③ダム施設の見学ツアーの開催	既存		• 国土交通省				
	④尾原ダムが有する資源・特徴の発掘・発信	新規		• 国土交通省など				
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県		国土交通省
	企画立案		●	●	●	●	●	
	魅力の発掘	●	●	●	●	●	●	
	魅力の発信	●	●	●	●	●	●	
	ライトアップ等の実施		●	●	●	●	●	
	見学ツアーの開催		●	●	●	●	●	
	資源・特徴の発掘	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり） (13)-2 日本ープロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト16

(13)-2 日本一プロジェクト

A.取組内容 (全体)	目的	・尾原ダムの魅力発掘 ・尾原ダムの魅力発信					
	場所	・尾原ダム（本体・堤頂道路など）					
	内容	①尾原ダムの魅力を広く認知してもらうために、尾原ダム本体や堤頂道路などを活用した「日本一」プロジェクトを企画します*。 ※具体的な「日本一」の企画内容（案）：ダム堤頂道路（440mの直線）を活かした取組（堤頂海苔巻き日本一など）、尾原ダム施設の日本一や世界一の設備の活用、ダムへの壁画や壁画を利用したイベントなど。 ②企画した「日本一」プロジェクトを積極的に実施します。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体	・国土交通省、島根県、雲南省、 奥出雲町、WG		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1※2}				備考	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案	●	●	●	●	●	●	
「日本一」プロジェクトの実施	●	●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クロス放流等）						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

■：平成 26 年度に新規に実施する取組

先行プロジェクト17

(14)-1 サイクリングコースの活用・PR（サイクリングイベント、認定コース、ショートコース）

A.取組内容 (全体)	目的	・サイクリングコースの魅力発信 ・サイクリングコース、自転車競技施設の活用 ・賑わいの創出					
	場所	・サイクリングコース（認定コース、ショートコース） ・自転車競技施設					
	内容	①「財団法人日本自転車競技連盟」の公認基準を満たしたコースであること、また、「観光庁ランナーズインフォメーション研究所」による国内初の認定コースとして選出されたことなど、サイクリングコースの魅力を広く発信します。 ②平坦なコースが続く 4.5km のコースは一般の方にも楽しんでもらえるコースであることも発信します。 ③サイクリングコースの多様な活用に向け、マラソンや駅伝など他の利用方法を検討します。 ④既に実施されているサイクリング大会や紅葉サイクリングを継続・発展させます。 ⑤MTB や BMX 大会の実施など、サイクリングを通じた上中下流の交流や地域活性化を目指します。 ⑥サイクリングコースを活用し、子供向けサイクリング教室などを企画・実施します。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体	・雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省、 島根県自転車競技連盟、島根シクロクロス選手権大会 in さくらおろち湖、島根県高校総体自転車選手権大会（ロード）、島根県自転車競技選手権大会（ロード）、NPO 法人サイクリストビュー、雲南サイクルチャレンジ 2011 の一環として、さくらおろち湖 MTB 耐久レース、奥出雲町商工会		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案	●	●	●	●	●	●	
認定コースのPR	●	●	●	●	●	●	
サイクリングコースのPR	●	●	●	●	●	●	
サイクリングコースの活用方法の検討	●	●	●	●	●	●	
既存イベントの継続	●	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として
MTB や BMX 大会の実施	●	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として
子供サイクリング教室などの企画	●	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携 (14)-2 レンタサイクルの実施						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など
※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト18

(14)-2 レンタサイクルの実施

A 取組内容 (全体)	目的	・サイクリングコースの活用					
	場所	・道の駅 おろちの里 ・佐白温泉 長者の湯					
	内容	①一般の方にサイクリングコースを楽しんでもらうために、「道の駅 おろちの里」や「佐白温泉 長者の湯」等を拠点としてレンタサイクルを実施します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①レンタサイクルの実施			新規	・奥出雲町		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	関係機関との調整	●	●	●			
	関連施設の整備	●	●	●			
	レンタサイクルの実施	●	●	●			
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR (サイクリングイベント、認定コース、ショートコース)						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト19

(15)-1 湖面の利用促進 (ポート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験)

A 取組内容 (全体)	目的	・さくらおろち湖の魅力向上 ・さくらおろち湖、ポート競技施設の活用 ・賑わいの創出					
	場所	・さくらおろち湖					
	内容	①さくらおろち湖の魅力を向上させるために、さくらおろち湖の利用を促進します (水陸両用バスによる湖上観光、シーカヤックやカヌー、ヨット等を利用したイベントの開催、湖面いかだレースの開催、屋形船の導入など)。 ②サイクリングコースと連携して、トライアスロン大会の実施に向け協議しています。 ③さくらおろち湖に完成した認定コースを活用したレガッタ大会やポート競技大会を誘致します。 ④現在斐伊川で開催されている子供向けボート教室をさくらおろち湖で実施します。 ⑤流域住民を対象とした体験教室などを開催し、ボートを通した水源地域の認知度向上を目指します。 【既存の取組内容】 ・斐伊川さくらボート協会が、「さくらおろち湖お花見レガッタ」を開催しています。 ・島根県ボート協会と島根県高等学校体育連盟ボート部が、「中国高等学校ボート選手権大会島根県予選」を開催しています。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①湖面利用の活発化、検討			既存	・雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省 ・NPO法人さくらおろち		
	③レガッタ大会やポート競技大会の誘致			既存	・雲南市、奥出雲町、島根県 ・斐伊川さくらボート協会		
	④子供向けのボート教室の実施			既存	・NPO法人さくらおろち ・斐伊川さくらボート協会		
	⑤流域住民を対象とした体験教室の開催			既存	・NPO法人さくらおろち ・斐伊川さくらボート協会		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案		●	●	●	●	●
	実施内容の検討		●	●	●	●	●
	湖面活用の実施		●	●	●	●	●
	トライアスロン大会の検討	●	●	●	●	●	●
	トライアスロン大会の実施	●	●	●	●	●	●
	レガッタ大会等の誘致		●	●	●	●	●
	子供向けのボート教室の実施	●	●	●	●	●	●
	住民向けの体験教室の開催	●	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携 (15)-3 釣り利用 (PR・大会・施設整備) (15)-4 利用ルールの策定・周知 (湖面利用の手引き等)						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト20

(15)-3 釣り利用 (PR・大会・施設整備)

A 取組内容 (全体)	目的	・さくらおろち湖の魅力発掘 ・釣り利用の活発化					
	場所	・さくらおろち湖					
	内容	①さくらおろち湖の新たな利用者を増やすために、さくらおろち湖での釣り大会の実施可能性を検討します。 ②関連団体等との調整を実施した上で、釣りスポットの整備など、ダム湖と川に親しめる取組を実施し、さくらおろち湖の魅力を向上させます。 ③「道の駅 おろちの里」での鑑札の販売など、簡易に釣り利用できる仕組みを検討します。					
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①釣り大会の実施の可能性の検討			新規	(実施段階検討)		
D. 実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
	住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省	
企画立案	●	●	●	●	●	●	
関係機関との調整		●	●	●	●	●	斐伊川漁業協同組合との調整
釣り大会の実施の可能性の検討	●	●	●	●			
釣りスポットの整備		●	●	●			
鑑札販売場所の拡大	●	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E. 関連プロジェクト	(15)-1 湖面の利用促進 (ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験) (15)-4 利用ルールの策定・周知 (湖面利用の手引き等) (21)-1 漁業資源の創出 (ワカサギの放流)						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

先行プロジェクト21

(15)-4 利用ルールの策定・周知 (湖面利用の手引き等)

A 取組内容 (全体)	目的	・施設の適正利用											
	場所	・既存施設											
	内容	①水源地域と他地域との交流促進による水源地域の活性化、公共施設の適正な管理を行うために、「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」を適正に運用します。 ②周辺の施設を利用する際の手続きの簡素化や、窓口の一元化の可能性を模索します。											
【既存の取組内容】													
・さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き、同ハンドブックの策定、配布を行っています。													
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体								
	①「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の策定			既存	・さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議								
	②手続きの簡素化や窓口の一元化の可能性の実施			既存	・さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議								
D. 実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考 (必要な支援内容、留意事項等)							
	住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省							
企画立案	●	●	●	●	●	●							
湖面の利用状況の整理		●	●	●	●	●							
「手引き」の策定		●	●	●	●	●							
関係機関との調整		●	●	●	●	●							
手続き簡素化等の実施		●	●	●	●	●							
広報・PR	●	●	●	●	●	●							
E. 関連プロジェクト	(15)-1 湖面の利用促進 (ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験) (15)-3 釣り利用 (PR・大会・施設整備)												

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト22

(16)-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等）

A 取組内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> 施設の有効活用 賑わいの創出 観光客の獲得 					
	場所	・自転車競技施設（多目的広場）					
	内容	<p>①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された自転車競技施設（多目的広場）を大人から子供までが利活用できるように検討します。</p> <p>【参考取組（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜・日曜・祝日における施設の開放 <p>②水源地域の賑わい創出、及び若者が参加できるイベントを開催するために、平成24年に実施された音楽イベント（幸雲南DAY ROCK FESTIVAL）を継続して実施します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人さくらおろちが、自転車競技施設（多目的広場）を会場にアマチュアロックバンドによるロックフェスティバル「幸雲南DAY ROCK FESTIVAL」を開催しています。 					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体			
	①土曜・日曜・祝日における施設の開放	新規		(実施段階で検討)			
	②音楽イベントの開催	既存		<ul style="list-style-type: none"> ・雲南市商工会、奥出雲町商工会 ・NPO法人さくらおろち 			
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案				●	●	●	●
利用促進の検討	●	●	●	●	●	●	●
土曜・日曜・祝日における施設の開放	●	●			●	●	
参加者の募集	●	●					
音楽イベントの開催							
広報・PR	●		●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト23

(16)-2 農村体験施設の利用促進

A 取組内容 (全体)	目的	・施設の有効活用					
	場所	・下布施農村体験施設					
	内容	<p>①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された農村体験施設を有効活用するために、併設されている宿泊施設での体験学習会や、小中学生を対象とした合宿研修の利用などをPRします。</p> <p>②広大な農地を活用した「かぼちゃの吊り下げ栽培」を推進します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の小学生を対象とした合宿研修を実施しています。 ・少ない街灯を利用した星空観察会を実施しています。 					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況			C.実施主体		
	①体験学習会や小中学生を対象とした合宿研修の開催	既存			<ul style="list-style-type: none"> ・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち 		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案				●	●	●	●
体験プログラムの検討	●	●	●	●	●		
体験学習会や合宿研修の開催	●	●	●	●			
「かぼちゃの吊り下げ栽培」の企画	●	●					
「かぼちゃの吊り下げ栽培」の実施	●	●					
広報・PR	●	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト24

(16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進

A.取組内容（全体）	目的	・施設の有効活用					
	場所	・下布施農村体験施設					
	内容	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された下布施ホースセラピー施設を活用した心の癒し企画を検討します。 ②農村体験施設や周辺の農地と連携した体験プログラムの企画などを検討します。 【既存の取組内容】 ・NPO 法人インフォメーションセンターが、さくらおろち湖祭り 2012 において湖畔にある下布施ホースセラピー施設を活用し、馬との散歩や餌やりなどの触れ合い体験が可能な「乗馬体験」を実施しています。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体			
	①ホースセラピー施設の利用促進 (H26.4 から施設の運用が開始)	新規		・雲南市 ・NPO 法人インフォメーションセンター			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	心の癒し企画の検討	●	●	●	●		
	心の癒し企画の実施	●	●	●	●		
	体験プログラムの企画	●	●	●	●		
	体験プログラムの実施	●	●	●	●		
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

■：平成 26 年度に新規に実施する取組

先行プロジェクト25

(16)-4 街道・登山道の活用（トレイルランニング、殿様街道、岩伏山）

A.取組内容（全体）	目的	・施設の有効活用					
	場所	・岩伏山登山道 ・殿様街道					
	内容	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された岩伏山の登山道を有効活用するために、小中学生（スポーツ少年団）による登山などを企画します。 ②トレイルランニングのコースとして整備された殿様街道の保全活動やイベント企画などを実施します。 ③水源地域の資源を活用した上中下流の交流を実施するために、さくらおろち湖から、出雲神話の舞台であり、松江藩主が通った殿様街道を駆け巡るトレイルランニング大会を継続して実施します。 【既存の取組内容】 ・尾原ダム・さくらおろち湖祭り 2012 実行委員会が、松江藩主が通ったさくらおろち湖から三沢城跡要害山へ抜ける殿様街道を駆けるトレイルランニング体験を実施しています。 ・NPO 法人さくらおろちが、「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の一環として、登山道の草刈りや沿道のゴミ拾いなどの環境整備を実施しています。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体			
	①小中学生（スポーツ少年団）による登山企画の実施	既存		・調整中			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	登山企画の実施	●	●	●	●	●	●
	殿様街道の保全活動	●	●	●	●		
	イベント企画等の実施	●	●	●	●		
	「トレイルランニング大会」の実施	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

先行プロジェクト26

(17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り、関連ツアーア）

A.取組内容（全体）	目的	・神話の継承・活用 ・神話の発掘
	場所	・出雲神話にゆかりのある地域
	内容	<p>①水源地域に伝わる出雲神話を掘り起こし、それらの伝承地（岩伏山頂上、長者屋敷跡、天が淵など）を巡る着地型観光ツアーを企画します。着地型観光ツアーの企画にあたっては、出雲神話と地域の風土、産業との関連など、水源地域全体の過去、現在、未来を把握できる内容になるよう努めます。</p> <p>②地域内で実践されている出雲神話に関する活動を支援します。</p> <p>③活動団体のメンバーを講師に招いた地域住民を対象とした学習会の開催やマップや読み物の作成などにより、地域に伝わる貴重な歴史や文化を継承します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社吉田ふるさと村と雲南省観光協会が、ヤマタノオロチ伝承地探訪ツアーを開催しています。
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況
	①出雲神話を巡る着地型観光ツアーの企画	既存
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}
	住民 団体 雲南省 奥出雲町 島根県 土文連	備考 (必要な支援内容、留意事項等)
	企画立案	● ● ● ● ● ●
	神話の掘り起こし	● ● ● ●
	ツアーアの企画	● ● ● ●
	活動への支援	● ● ● ●
	学習会の開催	● ● ● ●
	マップや読み物の作成	● ● ● ●
	広報・PR	● ● ● ● ● ●
E.関連プロジェクト		

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト27

(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等）

A.取組内容（全体）	目的	・郷土料理の継承・活用
	場所	・水源地域
	内容	<p>①地域に伝承されている「食」（焼豆腐、笹巻き、イノシシ料理など）を積極的に掘り起こします。</p> <p>②発掘した郷土料理を地域住民及び流域の住民に伝承していくための講座を開催します。</p> <p>③宿泊と料理を結びつけたオーベルジュを活用します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人さくらおろちが、周辺地域に伝わる「食」のスタイルと技を、ダム湖周辺住民が下流域住民に伝える『神話の里さくらおろち・食の学び舎「さくらおろち食べごと塾』を開催しています。 ・NPO 法人さくらおろちが、周辺地域に残る食文化を後世に伝えるためのデータベースを構築する『神話の里さくらおろち・食の学び舎「現代版食の神話づくり』を実施しています。
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況
	①地域に伝承されている「食」の掘り起こし ②郷土料理の講座の開催	既存 既存
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}
	住民 団体 雲南省 奥出雲町 島根県 土文連	備考 (必要な支援内容、留意事項等)
	企画立案	● ● ● ● ● ●
	「食」の掘り起こし	● ● ● ●
	郷土料理の講座の開催	● ● ● ●
	オーベルジュの活用	● ● ● ●
	広報・PR	● ● ● ● ● ●
E.関連プロジェクト	(18)-2 モニターツアーアの開催	

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト28

(18)-2 モニターツアーの開催

A 取組内容 (全体)	目的	・水源地域の魅力の発信					
	場所	・水源地域					
	内容	①現在実施している郷土料理を楽しむモニターツアーを継続・拡大させ、郷土料理を通した水源地域の魅力を発信します。 ②オーガニック料理教室を継続して実施します。 【既存の取組内容】 ・食の杜が、郷土料理のバイキングレストランモニターツアーを開催しています。 ・奥出雲多根自然博物館とNPO法人奥出雲布勢の郷が、オーガニック料理教室を開催しています。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①郷土料理を楽しむモニターツアーの開催			既存	・NPO法人さくらおろち		
	②奥出雲のオーガニック料理教室			既存	・NPO法人奥出雲布勢の郷 ・奥出雲多根自然博物館		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	モニターツアーの開催	●	●	●	●		
	オーガニック料理教室の開催	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等）						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト29

(19)-1 古民家の活用

A 取組内容 (全体)	目的	・地域文化の継承・活用					
	場所	・要害山交流拠点施設 みざわの館					
	内容	①水源地域の地域文化を継承・活用するため、まずは、整備された「要害山交流拠点施設 みざわの館」を観光拠点の一つとして積極的に活用します。 【既存の取組内容】 ・「要害山交流拠点施設 みざわの館」は、三沢地区河内にある要害山登山口付近にあった空き家を改築された施設です。木造平屋建てで8畳の和室3間や居間のほか、田舎ツーリズムなどの体験交流に利用できる調理・作業スペースが整備され、「とんぼの会」が管理しています。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①観光拠点の一つとして「要害山交流拠点施設 みざわの館」の活用			既存	・奥出雲町、雲南省 ・とんぼの会 ・NPO 法人さくらおろち		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	活用方法の検討	●	●		●		
	観光拠点として活用		●		●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト30

(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー）

A.取組内容（全体）	目的	<ul style="list-style-type: none"> 施設間の連携 施設の活用 					
	場所	・佐白温泉 長者の湯					
	内容	<p>①水源地域周辺に立地する温泉施設間の連携を促進するために、温泉スタンプラリーを企画・実施します。</p> <p>②水源地域交流拠点として利用されている「佐白温泉 長者の湯」で、水源地域農産物の産直販売や、食の提供などを行い、世代間交流を実施します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 神々の国しまね雲南地域実行委員会（雲南広域連合）が、雲南地域にある14の温泉施設を対象としたスタンプラリー「うんなん湯たんぱラリー」を実施しています。 					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体			
	①温泉スタンプラリーの企画・実施	既存		・雲南広域連合			
	②世代間交流イベントの実施	新規		・NPO法人奥出雲布勢の郷			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	
	スタンプラリーの企画	●	●	●			
	スタンプラリーの実施	●	●	●			
	世代間交流イベントの企画	●	●	●			
	世代間交流イベントの実施	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●		
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト31

(20)-2 観光資源の再整理

A.取組内容（全体）	目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の整理 地域の魅力の発掘 						
	場所	・水源地域						
	内容	<p>①水源地域として、観光拠点として発信する施設の選定を行います※。</p> <p>②資源の再整理にあたっては、斐伊川の歴史とヤマタノオロチの伝承を流域全体でつなぎ、自然とその背景をストーリーでつなぐなど、地域全体として魅力を発信します。</p> <p>※発信する施設は、『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』を踏まえて選定します。</p>						
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況			C.実施主体			
	②「島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅（スサノオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス）」の開催	新規			・株式会社ふるさと村、雲南市観光協会			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2						
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		企画立案	●	●	●	●	●	
		観光資源の整理	●	●	●	●		
		拠点施設の選定	●	●	●	●		
		魅力の発信	●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●			
E.関連プロジェクト	(20)-3 地域体感ツアーの開催							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト32

(20)-3 地域体感ツアーの開催

A 取組内容 (全体)	目的	・新しい魅力の発信					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域の新しい魅力を広く発信するために、地域体感ツアーを企画・開催します。 ②都市部の住民にとって珍しく、体験したいと感じる雪かきなどの雪体験ツアーの開催を検討します。 ③地域体感ツアーの開催にあたっては、水源地域の魅力の一つである温泉や宿泊施設などの連携を模索します。 ④ツアーエージェントを対象としたツアー企画を実施し、水源地域の魅力を活用したツアーの制作を依頼します。					
	【既存の取組内容】			• NPO 法人さくらおろちが、しまね暮らし体験事業として、県外在住者向けの田舎暮らし体験プログラムを実施しています。 • 雲南市ふるさと定住推進協議会が、雲南暮らし体験プログラムとして、県外在住者向けの田舎暮らし体験プログラムを実施しています。			
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①地域体感ツアーの企画・開催			既存	• NPO 法人さくらおろち		
	②雪かきなどの雪体験ツアーの開催			既存	• NPO 法人さくらおろち		
	③温泉や宿泊施設などの連携			既存	• NPO 法人さくらおろち		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	地域体感ツアーの企画	●	●	●	●		
	地域体感ツアーの実施	●	●	●	●		
	雪体験ツアーの開催	●	●	●	●		
	温泉や宿泊施設などの連携	●	●	●	●		
	ツアー企画の実施	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェク クト	(20)-2 観光資源の再整理						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

青字：平成 26 年度の実施内容が未定な取組

先行プロジェクト33

(21)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）

A 取組内容 (全体)	目的	・地域資源の創出					
	場所	・さくらおろち湖					
内容		①新しい地域資源として、さくらおろち湖へのワカサギ放流を継続します。 ②放流したワカサギは、漁業資源としてだけではなく、冬季の観光資源としての活用を模索します。 【既存の取組内容】 • 温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会が、「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」として、魚釣りスポットを整備するとともに、ダム湖内の筏にワカサギの卵を括りつけて放流しています（平成 23 年 400 万個、平成 24 年 200 万個、平成 25 年 800 万個）。					
B.1年目に取組 むべき事項		取組事項			状況		C.実施主体
①ワカサギの放流			既存		• 雲南市、奥出雲町 • NPO 法人さくらおろち • 斐伊川漁業協同組合 • 温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会		
②冬季の観光資源としての活用			既存		• 雲南市、奥出雲町 • NPO 法人さくらおろち • 斐伊川漁業協同組合 • 温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	ワカサギの放流	●	●	●	●		
	生息状況の調査	●	●	●	●		●
	観光資源としての活用	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェク クト	(15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備） (22)-1 特產品の開発・販売促進						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

青字：平成 26 年度の実施内容が未定な取組

先行プロジェクト34

(22)-1 特產品の開発・販売促進

A 取組内容 (全体)	目的	・地域産業の振興 ・地域の魅力の発掘・発信					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域の豊富な湧水や豊かな森林から生産される木材資源、新鮮で高品質な農作物、さくらおろち湖を特色づける特產品、出雲神話に関連する商品など、水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品開発を行います※。 ※具体的な商品：川魚、食用ほおずき「おろちの真珠」、ヤーコン、コリンキー、サラダ用カボチャ、イノシシ肉、湧水・名水など ②開発した特產品を「水源地域ブランド」として認定し、全国へ発信・販売することにより水源地域の認知度を向上させます。 ③開発した特產品の販売促進を図るため、出雲神話に由来するネーミングを検討します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発			既存	・雲南省商工会、奥出雲町商工会		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	素材を用いた個性ある商品の開発	●	●	●	●		
	「水源地域ブランド」の認定	●	●	●	●		
	ネーミングの検討	●	●				
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(21)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト35

(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催

A 取組内容 (全体)	目的	・賑わいの創出 ・上中下流の交流 ・観光客の獲得					
	場所	・ポート競技施設 ・尾原ダム ・さくらおろち湖					
	内容	①「さくらおろち湖祭り」を継続・発展させることで、水源地域への観光客を呼び込み、水源地域の活性化につなげます。 ②「さくらおろち湖祭り」については、NPO 法人などの関係諸団体と連携し、ダム湖面の活用を検討します。 【既存の取組内容】 • 尾原ダム・さくらおろち湖祭り 2012 実行委員会が、さくらおろち湖祭り 2012 の中で、ステージイベントや、テント村、尾原ダム堤体見学会、ホースセラピー体験、シーカヤック体験等を実施しています。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①「さくらおろち湖祭り」の開催			既存	・尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会		
	②実施プログラムの発展			既存	・尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	「さくらおろち湖祭り」の開催	●	●	●	●	●	●
	実施プログラムの発展	●	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携 (23)-3 イベントの企画・立案						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト36

(23)-2 そば打ち交流会の開催

A 取組内容 (全体)	目的	・上中下流の交流						
	場所	・水源地域						
	内容	①水源地域の特産品を通じた上中下流の交流を実施するために、下流域の住民との「そば打ち交流会」を継続して開催します。 【既存の取組内容】 ・ NPO 法人さくらおろちと NPO 法人奥出雲布勢の郷が、地域住民が講師となり、そば打ちを通して松江市などからの参加者と交流を深める「斐伊川上下流域住民交流事業 そば打ち交流会」を開催しています。						
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体			
	①「そば打ち交流会」の継続			既存	・雲南市、奥出雲町			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県		国土交通省
		企画立案	●	●	●	●		●
「そば打ち交流会」の開催	●	●	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●	●		
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

先行プロジェクト37

(23)-3 イベントの企画・立案

A 取組内容 (全体)	目的	・水源地域の魅力向上 ・新たな観光客の獲得							
	場所	・さくらおろち湖			・さくらおろち湖周辺				
		・尾原ダム（堤頂道路）			・さくらおろち湖に架かる橋				
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体				
	①尾原ダムを念頭においていたイベントの企画・立案			既存	・雲南市、奥出雲町 ・NPO 法人さくらおろち ・温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会				
	②ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討			既存	・国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町、WG				
	④トライアスロン大会の企画			新規	・島根県トライアスロン協会 ・雲南市				
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)		
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県		国土交通省	
		企画立案	●	●	●	●		●	●
		イベントの企画・立案	●	●	●	●		●	●
		ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討	●	●	●	●		●	●
		堤頂道路イベントの企画	●	●	●	●		●	●
		トライアスロン大会の企画	●	●	●	●		●	●
新たなイベントの実施	●	●	●	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●	●			
E.関連プロジェクト									

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

赤字：平成 25 年度との変更点（追加実施、見送りなど）

■：平成 26 年度に新規に実施する取組